

事業再評価の 重点化・効率化について(審議)

2022年3月9日

みち、ひと…未来へ。



1. 道路事業・街路事業に係る再評価実施要領細目



「道路事業・街路事業に係る再評価実施要領細目」(H30.3.12)において、再評価の手法に係る、重点化・効率化が規定されている。

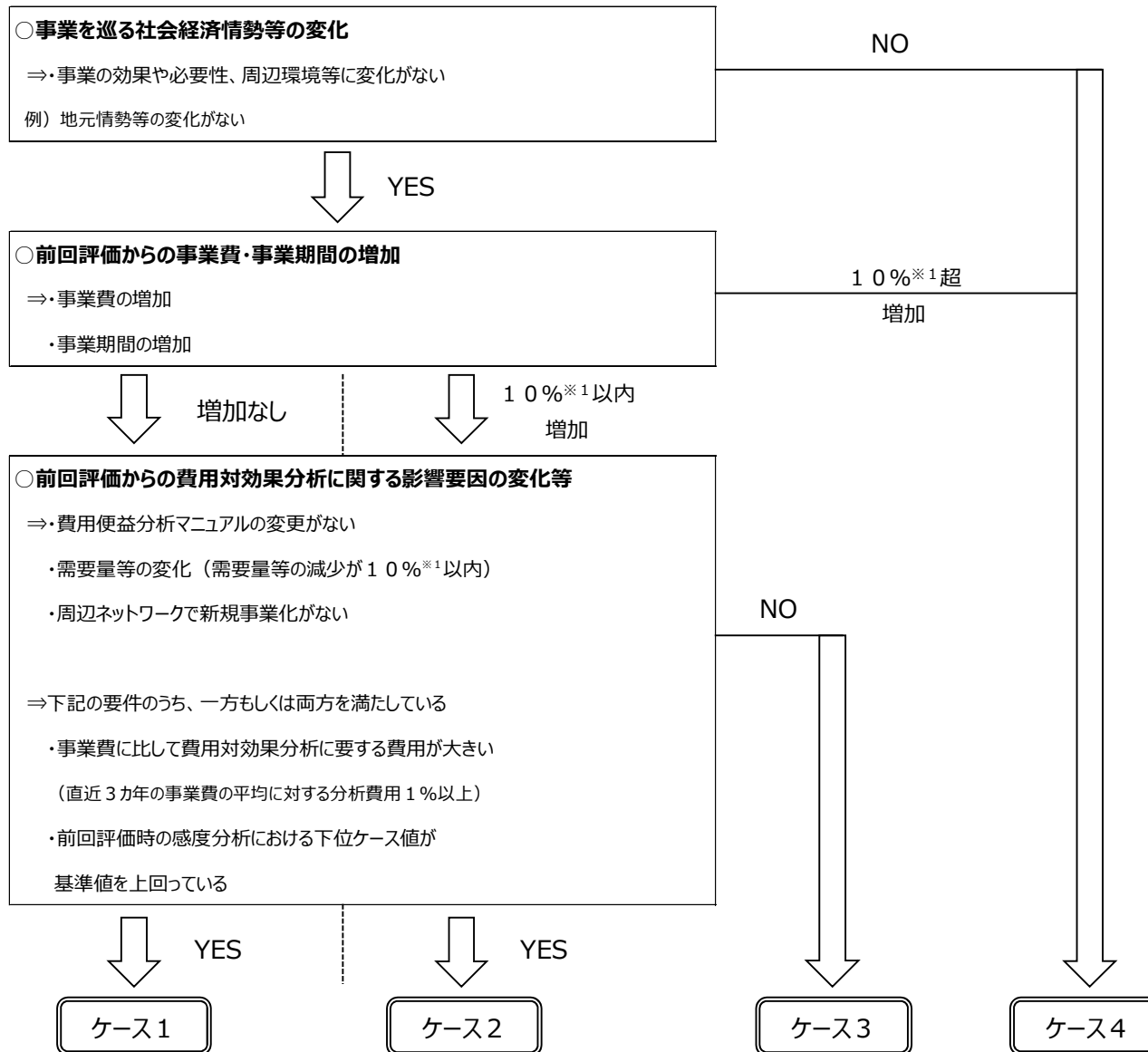
・「**重点審議** (従来審議方法) 」と「**要点審議**」に**分類し審議**を行うことが可能。



前回評価時から社会経済情勢等の変化、事業費・事業期間の増加、B/C影響要因変化等が無い、または小さい場合は、資料作成、費用対効果分析を省略した要点審議とすることができる。

・**審議方法**については、**事業評価監視委員会**が**決定**する。(再評価実施要領 第6の4)

2. 今後の審議方法 再評価の重点化・効率化に係る確認フロー



※1 感度分析の範囲を参考に記載しているが、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる

3. 今後の審議方法

確認後 ケース別の審議区分・資料等の作成方法



	ケース1	ケース2	ケース3	ケース4
社会経済情勢等の変化	無し	無し	無し	有り
事業費・事業期間	増加無し	10% ^{※1} 以内増加	増加無し 又は 10% ^{※1} 以内増加	10% ^{※1} 超増加
B/C影響要因変化 等	無し	無し	有り	—
審議区分	要点	要点 ^{※3}	要点 ^{※3}	重点
資料	省略 ^{※2}	省略 ^{※2、※3}	省略 ^{※2、※3}	作成
費用対効果分析	省略	省略	実施	実施

※1 感度分析の範囲を参考に記載しているが、感度分析の変動幅が別に設定されている場合には、その値を使用することができる

※2 事業の進捗状況、進捗の見通しのみを更新、
部分供用等があり「今後の評価に必要なデータの取得が必要な場合」はデータの取得のみ実施

※3 事業費・事業期間・B/C影響要因の変化状況を踏まえ、必要に応じ、資料作成・重点審議を実施

※ 資料・費用対効果分析の省略は、2回以上連続して実施しない

4. 今後の審議方法 要点審議時の説明資料 (様式・一覧表)



西日本高速道路株式会社 事業評価監視委員会 再評価 要点審議

事業名 (箇所名)	実施箇所	再評価理由 ※1	新規事業 採択時評 価年度	前回再評 価年度	事業期間等	総事業費(億円) 上段: 前回評価時 下段: 現時点	事業を巡る社会 経済情勢等の変 化	主な事業の進捗 状況	主な事業の進捗 の見込み	コスト削減や代替 案等の可能性	事業の効果等	事業の投資効率性		感度分析		都道府県・政令 市等の意見	対応方針 (原案)	
												【事業全体】 総便益B: ○○億円 総費用C: ○○億円 B/C=○○	【残事業】 総便益B: ○○億円 総費用C: ○○億円 B/C=○○	【事業全体】 B/C=○~○ (需要量 ±10%) B/C=○~○ (事業費 ±10%) B/C=○~○ (事業期間±1年)	【残事業】 B/C=○~○ (需要量 ±10%) B/C=○~○ (事業費 ±10%) B/C=○~○ (事業期間±1年)			
1 ○○自動車道 (○○~○○)	自: ○○県○○市 至: ○○県○○町		H○○	R○○	○○年度事業化 ○○年度用地着手 ○○年度工事着手	0,000 0,000 (+○○)												事業継続
2																		
3																		
4																		
5																		

※1 再評価理由
 ①: 事業採択後3年間が経過した時点で未着工の事業
 ②: 事業採択後5年間が経過した時点で継続中の事業
 ③: 準備・計画段階で3年間が経過している事業
 ④: 再評価実施後5年間が継続している事業
 ⑤: その他

※費用対効果分析を実施せず、前回評価時点の結果を適用する場合には、
 「注: 費用対効果分析に係る項目は○年評価時点」との注釈を追記する。

- ・様式・一覧表に補足資料を付けて審議
- ・事業費や事業期間の見直しがある場合は、その説明資料を付けて審議

4. 今後の審議方法

要点審議時の説明資料 (補足資料 (イメージ))



1. 事業概要 事業区間：自)〇〇県〇〇市〇〇(〇〇IC) 至)〇〇県〇〇市〇〇(〇〇IC) 計画延長・幅員：150km・23.5m 車線数：4車線 計画交通量：30,000～50,000台/日 事業化：平成〇年度 全体事業費：(前回)約〇〇億円(今回)約〇〇億円	5. 概要図																				
2. 事業の進捗状況 ・当該事業区間の用地取得率は100% ・設計が一部完了し工事発注に向けた準備中	6. (説明事項)																				
3. 主な事業の整備効果 ・物流効率化の支援(国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上) ・災害への備え(被災地における復旧復興支援、代替路線の形成) ・安全で安心できるくらしの確保(三次医療施設へのアクセス向上)																					
4. 費用対効果分析結果 <table><thead><tr><th></th><th>【事業全体】</th><th></th><th>【残事業】</th></tr><tr><th></th><th>(前回)</th><th>(今回)</th><th>(今回)</th></tr></thead><tbody><tr><td>総便益B:</td><td>〇〇億円</td><td>〇〇億円</td><td>B:〇〇</td></tr><tr><td>総費用C:</td><td>〇〇億円</td><td>〇〇億円</td><td>C:〇〇</td></tr><tr><td></td><td>B/C=〇.〇</td><td>B/C=〇.〇</td><td>B/C=〇.〇</td></tr></tbody></table>		【事業全体】		【残事業】		(前回)	(今回)	(今回)	総便益B:	〇〇億円	〇〇億円	B:〇〇	総費用C:	〇〇億円	〇〇億円	C:〇〇		B/C=〇.〇	B/C=〇.〇	B/C=〇.〇	7. 対応方針(原案) ・事業継続とする ・本事業は、高規格道路ネットワークを形成する有料道路であり、沿線地域の産業、経済の発展等の観点から、事業の必要性・重要性は高く、整備による効果発現を図ることが適切である。
	【事業全体】		【残事業】																		
	(前回)	(今回)	(今回)																		
総便益B:	〇〇億円	〇〇億円	B:〇〇																		
総費用C:	〇〇億円	〇〇億円	C:〇〇																		
	B/C=〇.〇	B/C=〇.〇	B/C=〇.〇																		